

愛郷  
無限

土屋館  
どや  
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街  
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年07月22日号 NO.486

写真提供：大仙市

## Subject：コミュニティFM【FMはなび】いよいよ試験放送！

大仙市に初めて出来るコミュニティFMラジオ局。先日、一般公募にてラジオの名称が【FMはなび】に決定しました。来年春の本開局を前に、この8月の花火ウィーク期間中、イベントFMを試験放送します。8月17日～23日の一週間です。この試験放送の結果を以て総務省が正式認可するかどうかが決まる大事な試験放送です。今回の試験放送の周波数も決まりました！

### 【FM 87.3MHz】です。

(姫神山のアンテナから電波を飛ばすので、大仙市の大概の地域で聞けますが、南外、中仙、協和地域など山間などでは一部難聴地域も発生します。今回はその電波調査の意味もあります。全域で電波の入り具合を調査して、難聴地域を確認し、必要な地域には中継アンテナを増設するなどの処置をとる予定です)

花火ウィークの会場に来れる方は、ハンディFMラジオを持参してラジオを聴きながら祭りを愉しんでみてください。耳より情報や実況あり、愉しさが倍増するはず。また会場に来れない方は、是非この周波数で花火ウィークから大曲の花火までの様子を聴いてみてください。

地域ラジオを聴いたり、投稿したりすることも、まちづくり活動への一つの参加の方法だと思います。将来人口の大幅な減少を見据えて、この地域が生き残るためには居住地の集約化、コンパクトシティ化など多方面から様々な策が必要となります。

コミュニティFMも地域の情報を伝え、人のつながりを深める価値で一助となります。

皆さん一人一人が例え少しづつでもいいのでコミュニティFMに参加して・応援して欲しいのです(小額でも構わないので運営金の寄付、サポーターへの加入、手紙やリクエストの送付、地域情報の提供、人物の紹介等々)。

#### ◆アメリカのケネディ大統領の就任演説(1961年1月)に有名な一節があります。

【同胞であるアメリカ市民の皆さん、国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何ができるかを考えようではありませんか。

また同胞である世界市民の皆さん、アメリカがあなたのために何をしてくれるかではなく、人類の自由のために共に何ができるかを考えようではありませんか。

則ち、大仙市の行政や政治家が自分に何をしてくれるかを求め・期待するのではなく、我々が地域・行政に対して何ができるのか？ と考えるのが市民・住民としての本来の姿だと思います。